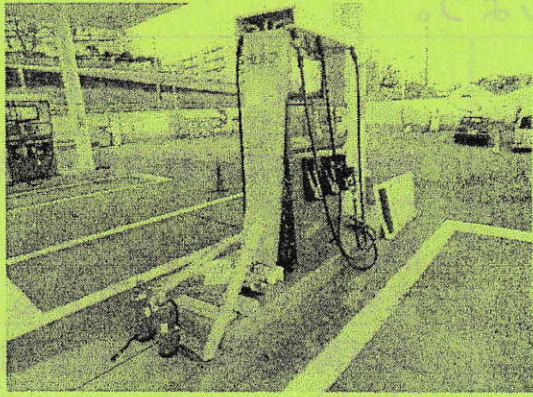


セルフガソリンスタンドの安全利用

あんぜん りよう

身近な危険物を取り扱う施設であるガソリンスタンドですが、スタンド利用者が原因となる事故が多発しています。

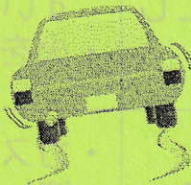


セルフスタンド利用時のポイント！

● ガソリンスタンド内は安全運転

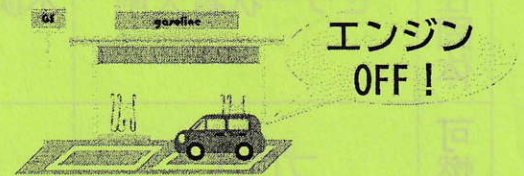
ガソリンスタンド内には、様々な機器や他の車両があり、運転には十分な注意が必要です。

急発進、急ハンドルは避けましょう。



● 案内標示に従い駐車

矢印などの誘導に従い、白線などで示された場所に停車し、必ずエンジンを停止しましょう。



● 静電気除去シートにタッチ

給油キャップを開ける前に「静電気除去シート」に触れ、静電気を除去してから給油を始めましょう。



● 正しい操作で給油

選んだ油種の給油ノズルを取り、給油口の奥まで差し込み、レバーをしっかりと握って給油をしましょう。



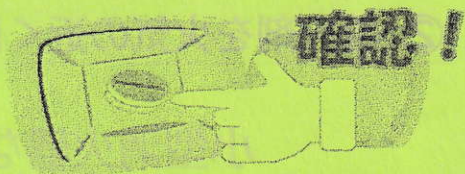
● 継ぎ足し給油をしない

満タンになると給油は自動的に停止します。吹きこぼれるおそれがあるので継ぎ足し給油はやめましょう。



● 給油キャップの置忘れ注意

給油口からガソリンや可燃性蒸気が漏れないよう、給油キャップは忘れずに締めましょう。



アウトドアと危険物

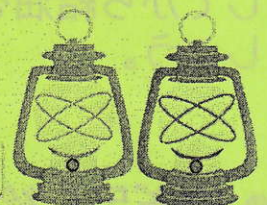
アウトドア用品には多くの危険物が使用されています。

安全にアウトドアを楽しむため 危険物や可燃性ガスが持つ危険性と事故を防ぐためのポイントを確認しましょう。

区分	物品	主な用途	性質、注意事項など
引火性液体	ホワイトガソリン	バーナー、ランタンなどの燃料	<ul style="list-style-type: none"> 揮発しやすく寒冷地でも着火しやすい 静電気などでも着火する 水をかけると燃え広がる
	メタノール エタノール	アルコールストーブなどの燃料	<ul style="list-style-type: none"> 炎が青白く明るい場所では見えづらい 大量の水で簡単に消火できる
	灯油	ストーブ、ランタンなどの燃料	<ul style="list-style-type: none"> 燃料に使用される身近な危険物 水をかけると燃え広がる
	パラフィンオイル	ランタンなどの燃料	<ul style="list-style-type: none"> 石油を蒸留して精製された液体 においが少なく煤が出にくい
引火性固体	ゼリー状着火剤	木炭などの火起こし	<ul style="list-style-type: none"> メタノールが主成分で着火しやすい 火を点けたら継ぎ足さないこと
可燃性ガス	プロパン イソブタン ブタン	バーナー、こんろなどの燃料	<ul style="list-style-type: none"> ガスを液化しカートリッジに充填している プロパン比率が大きいほど高出力で、低温でも使用できる

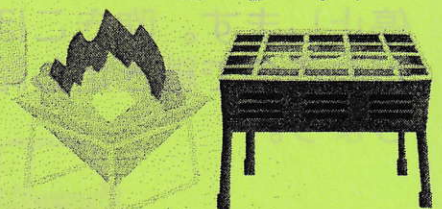
引火性液体を使用するときの注意事項！

- ① 指定された燃料を使用しましょう。
- ② 燃料は 専用の容器に入れましょう。
- ③ 燃料を入れた容器の取扱いに注意しましょう。



ゼリー状着火剤を使用するときの注意事項！

- ① 着火剤の「継ぎ足し」は絶対に行わない。
- ② 着火剤を火気の近くに置かない。



小型消火器などを準備して使用しましょう！